

答 市内公園の来年度以降の維持管理については、予算確保と合わせ、利用者が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理に努める。

(都市計画課)

要望 基本設計書には載っていた管理棟がなくなつたことによる管理体制の不十分さから、除草や芝生管理などに利用者から指摘がある。地域での意見交換の場において十分な議論をお願いする。

◆大字名の統一について
問 一つの行政区に大字名が混在している地区においては、火災や訃報・事件や災害などの際に不便さを感じている。この件は以前にも質問し皆様からの意見を伺い、共に研究をしたい、との答弁があったが現況はどうか。また、農業用水源確保のかんがい用配管は大字境の諸条件にならないか。
答 これまで大字の区域

を変更した事例に、自治会との整合を図る目的のみで、変更が行われたことはない。この件は、住居表示による諸課題の解決が現実的と思われるが、住民負担等課題が多く厳しいと考える。なお、かんがい用配管を区域の境とすることは、県や国の意見を聞く中で個別に判断されるものと考えている。

(市民課)



質問者
西條 富雄
石井 勉



持ち時間90分

市役所は市民皆さまのよるず相談所と少子化対策

◆窓口のデジタル化

問 各種手続きの受付呼出番号をSMSにライブ配信して待ち時間を無くするなど、市民サービスにつながる窓口のデジタル

化を採用しないか。

答 窓口のデジタル化による窓口改革として、届出書類を職員が聞き取りながら端末に入力し、書類作成とデータ入力と同時に進めるシステム「書かない窓口」の導入を検討している。

(市民課)

◆窓口の接遇について

問 市民が公的な業務処理や書類手続きなどで、相談に訪れた時、各部署の窓口は親身になって接遇や案内をしているか。

答 市長マニフェストの「市民一人ひとりに寄り添い、親切、丁寧に対応できる市役所づくり」の実現に向けて、全職員が市民の皆様との立場で、心のこもった接遇対応ができるよう、民間企業の視点も取入れ、研修の充実を図っていく。

(市民課)

◆困窮妊婦の産科初診料

無料化について

問 経済的理由で産科受診をためらい、妊娠や出産の際に母子に危険がおよぶのを防ぐため、初回の受診を実質無料とする政府方針に対し、市は医療機関と、どのように連携していくか。

答 困窮妊婦の情報を把握した医療機関と連携し個別の支援計画を策定し妊娠期支援の充実に努めたい。

(健康づくり課)

◆妊娠前の健康管理「プレコンセプションケア」

問 女性が妊娠前の自身の健康管理に取り組み、将来の妊娠や出産に向けて、適切な準備をしておく、「プレコンセプションケア」の周知方法は。

答 県から配布されたり「T-SUNAGU」と併せて配布する。また、県のホームページの「妊活ながの」のページにリンクできる

ようにするなど、幅広い世代への周知に努めたい。

(健康づくり課)

◆特産品を広域で共同開発や販路を

問 特産品の共同開発や、観光PRなど、産業活性化についての若者たちからの提言をどのように実践に結び付けていくのか。

答 あらゆる機会でも若者の意見をくみ取り一緒に観光PRや行政・地域課題に取り組むなど、未来の塩尻市が魅力ある都市になるよう、若者の提案の具現化について共に考えていきたい。

(産業政策課)



市役所窓口の呼び出し番号ボード